



私立大学図書館についての 審議のまとめ

文部科学省研究振興局
学術調査官 宇陀則彦

私立大学図書館

- 平成22年度「学術情報基盤実態調査」
- 大学数
- A（8学部以上）：28大学
- B（5~7学部以上）：65大学
- C（2~4学部以上）：266大学
- D（単科大学）：239大学

私立大学図書館

- 平成22年度「学術情報基盤実態調査」
- 職員数（一大学平均）
 - 国立大学：専任20人、臨時24人
 - 公立大学：専任4人、臨時6人
 - 私立大学：専任6人、臨時7人
- 外部委託

○ 国立大学：79.9%	全面委託 0%	0大学
○ 公立大学：85.9%	全面委託3.1%	4大学
○ 私立大学：75.7%	全面委託4.5%	61大学

審議のまとめへの向き合い方

- 中小規模の大学が8割以上を占める。
- 日々の業務を回すので精一杯。
 1. **学習支援を第一に考える。**
 - a. ラーニングコモンズを実施する
 - b. ゾーニングの見直しをする。
 - c. 学生を味方につける。
 2. **広報の目玉になることを考える。**
 - 大学の戦略の一部になる
 3. **情報収集は怠らない。**
 - チャンスを見逃さないように。

ラーニングコモンズ

- 単なる学習スペースではない。
- 多様な学生が集い、自立的な学習によって、学習活動の「場」として展開する環境
- 大学の教育戦略と整合し、図書館の企画ではなく、大学の企画として実施
- （空間＋学習資源＋人＋議論）×学生
- 必読文献：永田治樹. 新しい学習の「場」
- <http://ir.nul.nagoya-u.ac.jp/jspui/handle/2237/14577>